

1. 概要

<目 的>

持続可能な公共交通を目指し、地域全体で公共交通を支えていく環境を構築するため、**基幹公共交通軸の強化**及び住民等への**利用促進に向けた取組**を行い、**悪循環から好循環への転換を図る**。

<バス機能強化策の検討>

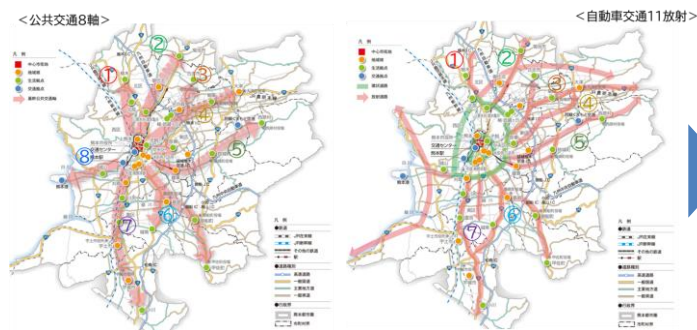
ベストミックスの構築に向け、基幹公共交通、**特にバスの機能強化策（定時性・速達性・輸送力の向上など）について検討**を実施

バス専用レーンの導入拡大を検討

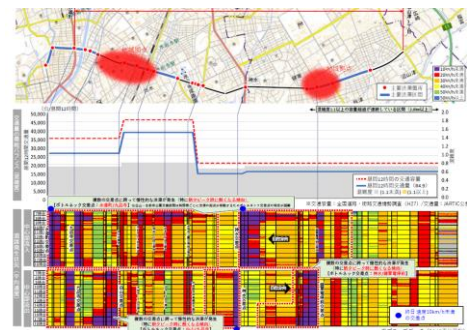
2. 今年度の検討状況（協議内容）

<優先的に検討する方面の選定>

基幹公共交通軸全方面の交通状況について、公共交通及び道路交通の観点から各種データに基づき検討した結果、**「益城・空港方面」**及び**「長嶺方面」**の2方面を優先的に検討する方面として選定



▲基幹公共交通軸及び11放射道路



▲交通状況の整理（公共交通・道路交通）

方面	公共交通				道路交通		ポイント
	交通分担率 バス分担率 (%)	バス需要 乗車人数 (人/日)	バス本数 運行本数 (本/日)	バス遅延状況 (ピーク時) 遅延分數 (分/本)	交通量 平均交通量 (台/12h)	旅行速度 速度10km/h未満の交差点数 (箇所)	
①植木	4	4	3	3	5	7	2
②合志・菊池	5	3	7	5	5	6	1
③菊陽・大津	3	5	5	6	1	4	4
④長嶺	1	2	2	2	3	1	13
⑤益城・空港	2	1	1	1	3	1	15
⑥嘉島	7	7	6	4	7	1	3
⑦宇土・宇城	7	8	8	8	2	5	2
⑧田嶋・城山	6	6	4	6	-	-	0

▲優先検討方面の選定

<定量評価手法の検討>

バス専用レーンの導入効果については、定時性や速達性、公共交通への転換者数の推計、道路交通に与える影響等についてニーズ調査や、シミュレーション解析等により定量評価を実施。

公共交通の利用促進を図るには、交差点改良やP&R・C&R、シェアサイクル、その他行動変容を促すソフト対策など、様々な施策を総合的に取り組んでいくことが必要。

各軸の特性に応じて、バス専用レーンと合わせて実施する施策を整理し、公共交通利用者の増加人数や公共交通への転換による自動車交通の削減など対策方面において**最終的に目指す姿、実現に必要な対策を具体化**

3. 令和5年度の取組

令和5年度は、導入可能な区間や行動変容策、その効果を整理するとともに、関係機関との協議を通じて目指すべき姿や具体的実施施策について整理する予定。

